

令和4年度公益社団法人びわ湖高島観光協会事業報告書

(自 令和4年4月1日 : 至 令和5年3月31日)

I.事業総括

令和2年から続いた新型コロナウイルス感染症への対応が、水際対策を含めて緩和され、観光に伴う人の動きが活性化しつつあります。国ではGoToトラベル事業に代わり実施された全国旅行支援制度により、困難な状況が続いていた観光地・観光産業に対して観光需要喚起が図られました。

滋賀県においては令和4年度から、滋賀らしい自然や文化に基づいた滋賀県独自の新たなツーリズム「シガリズム」を提唱しています。このシガリズムのコンセプトは自然を活かした滞在型観光を目指す高島市の観光との親和性が高いと考えており、当協会独自にSDGsを切り口とした体験プログラムの開発と販売促進を進める「SDGs観光プロモーション事業」を実施するとともに、県の事業である「シガリズムペダル in 高島」や「シガリズムコンテンツ創出事業」に協力することで、シガリズムの浸透を図り、高島市の観光振興を進めました。

また年度後半において急速に回復の進んだインバウンドについては、主要なターゲットと設定した台湾・香港を対象にWeb、SNS広告を展開するとともに、海外からの個人旅行者を意識して、写真映えを狙った動画を作成しました。この動画はWebでの公開はもちろんのこと、今後商談会やキャンペーン活動等に広く活用していきます。

広域的な観光動態調査については、前年度より運用している観光アプリを活用して、福井県嶺南地域を含めてスタンプラリーを実施しました。なお得られた調査結果については、今後、入込情報と併せて詳細な分析を行い、当協会事業にフィードバックするとともに、今年度実施のマーケティングリサーチ事業にも活かしていきます。

物産振興事業においては、まるごと百貨店や催事の売上等の状況から、事業全般にコロナ禍からの回復のスタートとなったことが顕われています。特に催事においては、近鉄草津店での催事が2回とも目標額を上回り、市外での高島市物産のPRに寄与することができました。

一般事項

1.組織

1) 会員異動状況(3月31日現在)

① 会員(正会員)異動状況

年度当初 会員数	異 動			会員数
	入 会	退 会	賛助会員へ移行	
280	7	6	0	281

② 賛助会員異動状況

年度当初 賛助会員数	異 動			賛助会員数
	入 会	退 会	正会員から移行	
99	0	3	0	96

2) 役員状況

役職名	定款による定数	年度当初	年度中異動	現在
会 長	1名	1名	—	1名
副会長	3名以内	3名	—	3名
理 事 (正副会長を含む)	15名以上 18名以内	18名	—	18名
監 事	2名	2名	—	2名

3) 職員状況

種 別	年度末
正職員	9
嘱託職員	2
臨時職員	14
合 計	25

2.会議

1)総会

種類	月日	会 場	出席者数	議 題
通常 総会	5/26	高島市 観光物産プラザ 多目的ホール	出席 31名 委任出席 173名 会員数 283名	〔議決事項〕 (1)令和3年度計算書類承認の件 監査報告 (2)理事及び監事選任の件 〔報告事項〕 (1)令和3年度事業報告の件 (2)令和4年度事業計画の件 (3)令和4年度収支予算の件

2)理事会

回	月日	会 場	出席者	議 題
1	5/11	高島市 観光物産 プラザ 視聴覚室	理事 12名 監事 2名 オブザーバー 1名	〔議決事項〕 (1)令和3年度事業報告の承認について (2)令和3年度計算書類の承認について (3)理事及び監事候補者の承認について 〔その他〕 (1)令和4年度通常総会の開催予定について
2	5/26	高島市 観光物産 プラザ 視聴覚室	理事 18名 監事 2名	〔議決事項〕 (1)会長及び副会長の選定について 〔その他〕 ・オブザーバーの選任について ・今後の予定について ・役員就任に係る書類の提出について
3	7/28	高島市 観光物産 プラザ 視聴覚室	理事 10名 監事 1名 オブザーバー 代理 1名	〔議決事項〕 (1)入会の承認について (2)令和4年度収支補正予算の承認について (3)会長職務代行者の順序の定めについて 〔協議事項〕 (1)令和5年度事業について 〔報告事項〕 (1)令和4年度事業年間スケジュールについて

4	11/21	白浜荘 会議室	理事 13名 監事 2名 オブザーバー 1名	〔議決事項〕 (1)入会の承認について (2)令和4年度収支補正予算の承認について 〔協議事項〕 (1)令和5年度事業計画について (2)広域観光交流会議について 〔報告事項〕 (1)会長及び副会長の職務執行状況 (2)近江高島駅観光案内所の時間延長について
5	2/22	高島市 観光物産 プラザ 視聴覚室	理事 13名 監事 2名 オブザーバー 1名	〔議決事項〕 (1)入会の承認について (2)職員給与規程の変更について (3)職員服務規程の変更について (4)育児・介護休業規程の変更について (5)令和5年度通常総会の開催について 〔協議事項〕 (1)令和5年度事業計画(素案)ならびに収支予算(素案)について
6	3/30	高島市 観光物産 プラザ 視聴覚室	理事 11名 監事 1名	〔議決事項〕 (1)令和5年度事業計画の承認について (2)令和5年度収支予算の承認について 〔報告事項〕 (1)令和4年度収支決算見込 (2)会長及び副会長の職務執行状況について 〔その他〕 (1)総会議長の依頼について

3) 監査

令和3年度事業報告、計算書類等の監査が行われた。

月日	場 所	出席監事	議 題
5/6	高島市観光 物産プラザ	2名	令和3年度公益社団法人びわ湖高島観光協会の事業ならびに収支決算について

II. 観光振興新規事業

1. 観光 PR 映像作成(市委託)

市内のアウトドア施設やアクティビティ、主要観光施設、物産などを収録した国内外向けプロモーション動画を作成した。

1) 制作内容: 動画 5 本×3 言語(日本語・英語・繁体中文) 合計 15 本

・ロングバージョン / 1 本(3 分 10 秒)

自然風景、体験、特産品(食、伝統工芸等)を含むダイジェスト版

・ショートバージョン / 4 本(各 30 秒)

春夏秋冬の各バージョン

2) 構成内容

風景…海津大崎、メタセコイア並木、琵琶湖(朝日・夕日)、びわこ箱館山

おにゅう峠、針江地域、サイクリング、白鬚神社

体験…琵琶湖アクティビティ、スキー場、スノーシュー、グランピング、

琵琶湖畔の宿泊

特産(食)…近江牛、うなぎ料理、日本酒、農産物、果物狩り、カフェ

特産(工芸)…和ろうそく、近江扇子、高島ちぢみ、高島帆布

3) 考察

インバウンドの重点市場としている台湾・香港からの訪日客の 80%以上がリピーターで、その最大のボリュームゾーンが 20~30 代女性・個人旅行者層の傾向にある【情報引用:「訪日ラボ」調査結果】。この層は「写真映え」を重要視しており、高島市が有する風光明媚な景観を前面に打ち出した動画は、ターゲット対して魅力があり、強みになる。また、滞在時間の延長や観光消費額の拡大を考慮して、アクティビティや特産品の映像も取り入れた。

動画は、次年度以降も、広報や商談会、キャンペーン活動等で活用する。また、今後は市内事業者の広報活動等でも広く活用することで、地域一体となってPR強化を行ってきたい。

2. 広域的な動態調査(観光アプリスタンプラリー)(市委託)

令和 3 年度に導入した「観光アプリ」に、令和 6 年 3 月からの北陸新幹線敦賀延伸を控えた近隣市町を含めて地図データを拡張し、高島市と福井県嶺南地域の観光スポットをスタンプ地点としたスタンプラリーキャンペーンを実施し、広域的な観光動態調査を行った。

1) スタンプラリー

・実施期間: 10 月 1 日~12 月 25 日

・企画内容: 高島市内及び福井県嶺南地域 合計 12 箇所のスタンプスポットを設定。スタンプ 6 個以上を集めると応募が出来るキャンペーンを開催した。

・スタンプスポット:

道の駅マキノ追坂峠(マキノ)・琵琶湖周航の歌資料館(今津)
道の駅藤樹の里あどがわ(安曇川)・道の駅くつき新本陣(朽木)
高島びれっじ(1号館周辺・高島)・たかしま・まるごと百貨店(新旭)
人道の港 敦賀ムゼウム(敦賀市)・若狭国吉城歴史資料館(美浜町)
道の駅若狭熊川宿(若狭町)・御食国若狭おばま食文化館(小浜市)
道の駅うみんぴあ大飯(おおい町)・UMIKARA(高浜町)

2) 利用実績 4月1日～3月31日(計12ヶ月間の総数)

ダウンロード数 : 1,282 件
動向調査有効数 : 1,009 件
クーポン利用数 : 131 枚
スタンプラリー参加者数 : 249 人
抽選応募数 : 129 人

3) 動態調査結果概要(アプリユーザーが対象)

【4～6月】4月は海津大崎桜関連が多く、4・5月は観光施設立ち寄りが多かった。6月は梅雨の影響か利用数が少なく、買い物や体験施設への立ち寄りが目立った。

【7～9月】8/7はブルーインパルス飛行があり多くの来訪者があり、アプリの利用も増加した。8月は入込数が最多であったが、アプリ利用数は秋期よりも少なかった。恐らく8月に多いキャンプ客やファミリー層のアプリ利用が少ないためと思われる。

【10～12月】ダウンロード数<動向許可数となり、既にアプリをダウンロードしているユーザーの来訪が多かった。これは、スタンプラリーキャンペーン実施が影響したと考えられる。基本的に土日祝の利用が多いが、10・11月は平日の利用も比較的多かった。特に、メタセコイア並木紅葉シーズンの利用が多かった。

【1～3月】スタンプラリー終了後は利用数が減少した。動向の特徴としては、冬季に見頃を迎えるザゼンソウ群生地関連が目立った。3月はサイクリング関連の動向が目立ち、レンタサイクルクーポン利用が増加した。

【広域連携】福井県嶺南地域では、道の駅熊川宿の利用が最も多かった。嶺南地域のスタンプスポットの中で、最も高島市に近いと考えられる。次いで、道の駅うみんぴあ大飯や、おばま食文化館への立ち寄りが目立った。

4) 考察

ユーザー特典を付与するスタンプラリーキャンペーン等、期間限定企画を行うことで、アプリ利用数の増加や周遊促進へと繋げることができた。また、令和3年度の市域単独開催よりも、嶺南地域を含んだ広域開催の方が参加数が増加したことから、今後も広域連携事業を効果的に実施したいと考える。

一方、8月のアプリ利用実績が低いことから、高島市のキャンプ・アウトドア目的の客層のアプリ利用は少ないと推定できる。アウトドア資源を活かした観光振興事業とアプリの連動は、

可否含め再検討していきたい。

3.シガリズム～びわ湖高島SDGs観光プロモーション事業～(BVB補助)

県のシガリズム観光振興ビジョンの基本方針に準じ、市内の魅力を再発見し、新たなプロモーションツールを作成することで多様な事業者間連携の強化を図った。

1)ツール作成

- ・SDGsを切り口に、体験プログラムのパンフレットを作成した。またこれには宿泊誘致のために団体向け宿泊施設情報も織り込んだ。制作過程においては、県内でSGDs関連プロジェクト実績を有する大学生を市内観光関連施設へ派遣し、商品の掘り起こしや磨き上げ、新たな商品造成を行うことで、受入基盤醸成を図った。
- ・体験プログラムタリフ 29 種作成

2)広報・営業活動

- ・BVBが主催する各種活動に参加し、連携してPR活動を行った。
- ・誘致推進部会を中心に、旅行会社等への教育旅行誘致営業活動を行った。

日	名 称	場 所	内 容
1/16	びわこビジターズビューロー 国内旅行誘致部会主催 中京地区旅行会社説明会及び商談会	名古屋市 クラウンプラ ザホテル	10社/12名の商品企画造成・仕入・販売担当者に対し、プレゼンテーション
2/1	近畿6府県観光情報交換会	東京都 都道府県会館	メディア・旅行会社等33名へ情報提供
2/6	びわこビジターズビューロー 国内旅行誘致部会主催 首都圏旅行会社説明会及び商談会	東京都 砂防会館	10社/12名の商品企画造成・仕入・販売担当者に対し、プレゼンテーション
3/8	びわこビジターズビューロー 国内旅行誘致部会主催 関西地区旅行会社説明会及び商談会	大阪市 オービックホール	13社/33名の商品企画造成・仕入・販売担当者に対し、プレゼンテーション

4.e-bike(スポーツ電動アシスト自転車)レンタサイクルによる周遊促進

3密を避ける新しい旅のスタイルとしてサイクルツーリズムが注目されている。ビワイチと差別化した新たな客層をターゲットに、e-bikeをレンタサイクルとして活用、市内周遊観光促進を図った。

1)e-bike体験会

市内集客イベントにおいて、貸出やサイクリングツアーを企画し、e-bikeの試乗+秋の観光や特産品・食の魅力を発信することを目的に、自転車メーカーや市内事業者と連携して体験会を実施した。

- ①11月20日「おっきん！ 椋川」：会場内移動ツールとして試乗体験

イベント来場者／約450名 e-bike体験者／20名

②11月27日「第5回 柿まつり」：柿畑付近のサイクリングミニツアーの実施

イベント来場者／約 500 名 e-bike 体験者／18 名

5.インバウンド広告(市委託)

インバウンド需要回復を見越し、台湾・香港 FIT(海外個人型旅行)をターゲットとした大手訪日旅行Webサイト等への広告掲載を行った。

1)活用メディア：「樂吃購(ラーチーゴー)！日本」公式Webサイト・SNS

月間ユーザー：240万人

(台湾・香港での訪日メディアユーザー数 No.1 ※2021年4月時点)

2)事業内容および効果測定

① Webサイト

掲載期間：9月1日～(2023.8月まで掲載中)

掲載内容：メタセコイア並木、白鬚神社をメインとした高島市の「絶景×食×体験」をテーマとした宿泊周遊コース。また、関西主要駅からのアクセス、二次交通情報を含めた。

効果測定：全体PV数／8,483(類似広告の平均PV数3,000)

全体ユーザー数／7,043(類似広告の平均ユーザー数2,700)

全体平均滞在時間／約7分(ラーチーゴー平均滞在時間約4分)

※2023年3月6日時点の測定値

② SNS 広告(フェイスブック)

掲載期間：1回目 9月2日～ / 2回目 1月20日～

効果測定：1回目 リーチ数 43,334 / 2回目 リーチ数 32,028

(類似広告の平均 約3万リーチ)

※2023年3月6日時点の測定値

3) 考察

当初は、インバウンド向けアクティビティをメインに発信する予定であったが、台湾人スタッフの助言をもとに、「絶景・食」をメインとし、アクティビティは、外国人観光客でも気軽に体験可能なメニューをピックアップした。誘客プロモーションと並行して、中国語を含めた多言語対応等の受入体制整備を令和5年度以降で進めていく。

Ⅲ.観光振興継続事業

1.観光誘客促進のための調査事業

令和3年より誘致推進部会を中心に実施している観光入込客数の調査業務を継続する

とともに、集積データのフィードバック、データ活用を行った。

1) 調査内容 : 日帰り・宿泊人数、個人・団体・教育旅行の利用人数、客層、居住地、業種別入込数(宿泊・キャンプ場・スキー場・日帰り施設・道の駅別)

2) 調査対象 : 高島市内主要観光施設・宿泊施設 37 地点

3) 調査結果概要 :

- ・一般旅行 : 令和4年は、新型コロナウイルス感染症による大きな行動制限等がなかったこと、また、全国旅行支援などの需要喚起策も影響してか、全体的に増加傾向であった。特に、宿泊や団体、若年層の来客が前年よりは増加した。

日帰り:10月>8月>11月、宿泊:8月

若年・ミドル層は8月が多い、ファミリーは5月、シニア層は11月

京都5月、大阪11月、兵庫・奈良・滋賀は8月、

愛知・岐阜・三重・静岡・北陸・首都圏は11月が最も多かった。

- ・教育旅行 : 発地調査では、昨年は滋賀の日帰り団体が最も多かったが、4年度は大阪・京都が増えてきた。

- ・インバウンド : 10月11日からの個人旅行受入再開以降増加、特に台湾・香港・韓国など東アジアからの来訪が目立った。

2. 情報発信事業

国内観光誘致を図るプロモーションツールとして半期毎の滞在型観光誘致パンフレット、基礎ツールとして総合マップの作成を行い、市外・県外への計画的かつ戦略的な情報発信、特に旅行会社造成担当窓口およびメディア等への情報発信強化を行った。

1) パンフレット等の作成

① 滞在型観光誘致パンフレットの作成(市委託)

半期毎に滞在型観光商品の紹介を含む誘致ツールを作成した。

旅行会社向けへの発信手段としては、全国旅行業協会正会員リストを活用し、効果が見込めるエリアの絞り込みを行い発送した。また、旅行会社・メディア向け商談会等にも積極的に参加、活用した。

・名称 : 「たかしま日和」

・上期 : 秋冬号 8月発行 15,000部

・下期 : 春夏号 2月発行 15,000部

② 総合マップの作成(市委託)

発行部数を優先し、必要最低限の修正を行い増刷した。

市内外でのイベント・商談時での活用、また、恒常的に市内外関係各所への設置

・名称 : 「びわ湖高島観光Navi」 20,000部

2) Web情報発信業務

②Web・雑誌等(無料掲載)

- ・雑誌・新聞等、紙媒体への情報提供 63 件
(地球の歩き方、JTBガイドブック、東海ウォーカー等)
- ・ホームページ等 48 件
(るるぶ観光データベース、じゃらんニュース、Lmaga.jp等)
- ・テレビ取材対応等 6 件
(関西テレビ「移住・定住コンシェルジュ」、NHK「発酵とおばあちゃん」等)

4) 各種DM発送業務

- ・関西、中京方面を中心とした主要道の駅や観光関連施設、宿泊施設等
9月 約130件 / 3月 約60件
- ・びわこビジターズビューローのDM活用(個人・メディア等)
9月 約1,500件 / 3月 約1,500件
- ・全国旅行業協会員の旅行会社へのDM発送(首都圏・東海・北陸・関西方面)
9月 約410件 / 3月 約820件

3. 誘致事業

1) Blue Green事業

①アウトドアフォトコンテスト

Webサイトに既設の応募システムを活用して作品を募集した。アウトドアを楽しむ写真に限定した為か、応募数は減少した。応募作品は次年度以降のプロモーションに活用する。

- ・募集期間 4月1日～2月15日
- ・応募点数 104点(応募人数61名)

②アウトドア情報発信ツールの作成

アウトドアプロモーションツールとして、アウトドアに特化したガイドブックを増刷。

- ・名称 びわ湖たかしまアウトドアガイドブック「Blue Green」
- ・発行部数 10,000部

③市外キャンペーン活動

愛知県で開催の大規模アウトドアイベントに出展。物産販売と観光PRを行った。

イベント名:フィールドスタイルジャンボリー2022

開催日: 11月19日・20日

開催場所: 愛知県国際展示場(セントレアに隣接)

来場者数: 45,000人(11/19(土))21,000人 / 11/20(日)24,000人

2) 誘致営業活動

びわこビジターズビューロー主催による商談会等に積極的に参加し、旅行会社・メデ

シア等への誘致活動を行った。

実施日	名 称	場 所	内 容
7/13-14	びわこビジターズビューロー 国内旅行誘致部会主催 教育旅行誘致キャラバン 首都圏エリア	東京都立川 市周辺 横浜市周辺	教育旅行取扱い旅行 会社 7社訪問
9/1	びわこビジターズビューロー 国内旅行誘致部会主催 関西地区旅行会社説明会 及び商談会	市内 今津サンブリ ックホテル	16社/29名の商品企 画造成・仕入・販売担 当者に対し、プレゼン テーション
12/6-7	びわこビジターズビューロー 国内旅行誘致部会主催 教育旅行誘致キャラバン 岡山・広島エリア	岡山市 広島市	教育旅行取扱い旅行 会社訪問 岡山/7社 広島/6社
2/17	びわこビジターズビューロー 海外誘客部主催 インバウンドLOP旅行会社 商談会	長浜市 北ビワコホテル グライエ	15社のインバウンド取 扱いランドオペレータ ー担当者に対して、プ レゼンテーション
3/5-8	(一財)関西観光本部 オール関西 第9回台湾大商談会	高雄市 台北市	関西広域の情報発信と 誘致。高雄市・台北市 の各旅行会社と商談
3/10	びわこビジターズビューロー 国内旅行誘致部会主催 教育旅行誘致キャラバン 名古屋エリア	名古屋市	教育旅行取扱い旅行 会社6社訪問

4.広域連携事業

2024年3月北陸新幹線敦賀延伸に伴い首都圏からの観光客の動きが変化することが見込まれる。首都圏に向けて多くの情報発信を行っている若狭湾観光連盟との協働や、北びわ湖広域観光協議会(長浜観光協会との連携)事業により広域連携を図った。

1)福井県嶺南地域との連携(一部 市補助)

① 共同パンフレットの作成

名称：若狭路湖西ぐるっと周遊まんぞくマップ

発行月：11月

作成部数：92,000部(高島からの配布分35,000部)

② 広域観光交流会議

開催日：11月29日

場 所 : 高島市内(白浜荘)

参加者 : 嶺南 6 市町観光協会、若狭湾観光連盟、びわ湖高島観光協会 他

③広域観光ワーキンググループ会議

開催日 : 2 月 27 日

場 所 : 若狭湾観光連盟(小浜市)

参加者 : 嶺南 6 市町観光協会、若狭湾観光連盟、びわ湖高島観光協会 他

④その他

・広域スタンプラリーキャンペーン開催(観光アプリ(広域的な動態調査事業)参照)

・観光パンフレット等の相互設置協力

2)北びわ湖広域観光協議会(長浜市観光協会との連携)

過年度には、国内誘客を軸に双方の旅行業を活かした各種事業を展開、令和 2 年度からはインバウンド誘客を目的とした連携事業を展開中。令和 4 年度は、インバウンド受入整備の一環として、双方の地域通訳案内士のスキルアップ、案内士間の連携強化を進め、高島・長浜それぞれの強みを活かしたガイド付広域ツアーの磨き上げを行った。

① 地域通訳案内士研修会

開催日 : 9 月 7 日

開催場所 : 長浜市内

内容 : 観光庁監修 全国通訳案内士による講義/現地研修 長浜市内観光スポット

参加者 : 高島市地域通訳案内士 4 名、長浜市地域通訳案内士 8 名 計 12 名

② 北びわ湖インバウンドモニターツアー(テストツアー)

開催日 : 2 月 20 日~21 日(1 泊 2 日)

内容 : 県北部振興に資するインバウンド周遊観光ツアー催行促進を目的とし、
びわこビジターズビューロー補助事業として実施した。

参加者 : モニター/滋賀県を拠点に活動中の全国通訳案内士 3 名

案内役 : 高島市地域通訳案内士 3 名 / 長浜市地域通訳案内士 3 名

コース :

1 日目 JR マキノ駅~豆腐づくり体験~針江生水の郷~白鬚神社~高島市内泊

2 日目 長浜城歴史博物館~着物レンタル~まち歩き(曳山博物館、黒壁スクエア他)
~長浜盆梅展~JR 長浜駅解散

③ 北びわ湖インバウンドモニターツアー(旅行会社招請)

開催日 : 3 月 9 日~10 日 (1 泊 2 日)

内 容 : 2 月のテストツアーの評価を参考に、行程や移動手段等を再検討、今後の
商品造成・販売に繋げるための磨き上げを行った。

参加者 : 招請/インバウンド取り扱い旅行会社、メディア 5 名(4 社)

案内役 : 高島市地域通訳案内士 4 名・長浜市地域通訳案内士 3 名

コース：2月のモニターツアーコースから以下の点を変更

- ・海外からの来訪者は環境問題意識が高いことや、琵琶湖を体感できる時間へのニーズが高いという意見を取り入れ、マキノ地域では琵琶湖の基本情報のレクチャーや琵琶湖の眺望スポットへの立ち寄り時間を追加した。
- ・通訳ガイドの鉄則「無駄に歩かせない、持たせない、待たせない」の方針のもと、移動手段や行程を見直した。マキノ地域での移動手段にレンタサイクルを利用。

5.旅行業務・手配業務

1) 着地型旅行の主催(受付、手配、実施)

主催ツアー、市内団体が企画する着地型ツアーの受付、手配等を行った。

実施日	タイトル	人数
4/2	野生・巨木の桜・エドヒガンハイキング	8
4/16	春の清水山城跡ハイキング	17
11/23	紅葉の清水山城跡ハイキング	6
3/4	ザゼンソウハイキング	12

2) 教育旅行、団体旅行の手配

旅行会社や学校等からの依頼による団体旅行の手配業務

実施日	団体名・内容等	人数
5/20-21	金蘭千里中学校 第一次産業体験・カヌー体験	90
5/22	高島トレイル連携協議会 高島トレイルサポーター養成講座	9
5/24	明石市立布引中学校 田植え体験	75
5/29	高島トレイル連携協議会 市民トレッキング	14
6/8	明石市立錦城中学校 第一次産業体験	77
8/30-31	京都外国語大学 撮影ツアー	29
9/7	北びわ湖広域観光協議会 地域通訳案内士研修	12
10/7	守口市・高島市民交流事業	22
11/6・7	小入谷紅葉バスツアー(クラブツーリズム)	22
3/15-16	和歌山大学 国際観光映像祭 観光エクスカーション	29

3) その他、安全安心バス助成事業 7 件(計 229 名)

4) 各種大会運営に関する受付、手配

実施日	団体名・内容等	人数
5/3・4・5	京都サッカースポーツ少年団連盟 チャレンジカップ、GW 今津フェスティバル (宿泊・弁当手配)	597 名

6. 受入体制整備事業

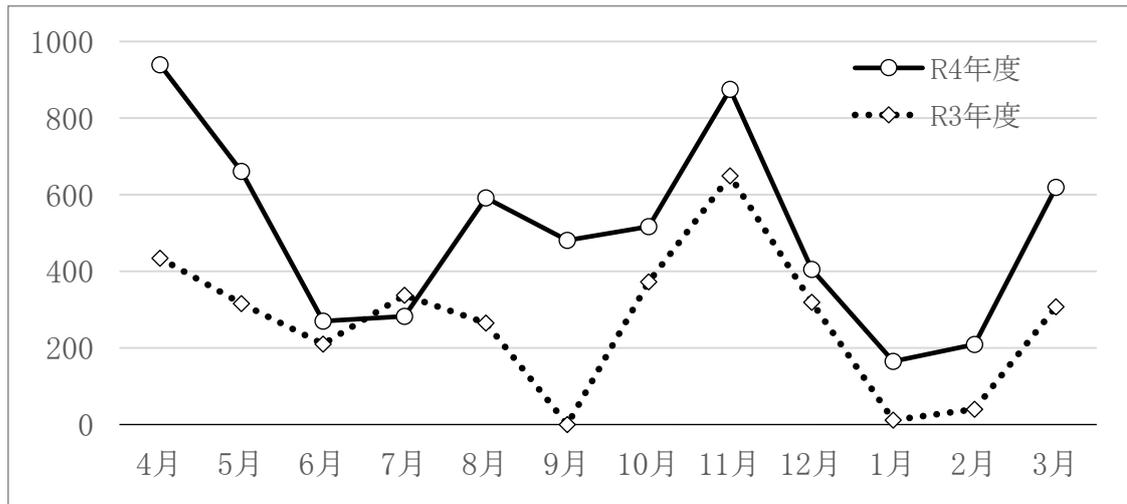
1) レンタサイクル事業

① 駅案内所等を利用してレンタサイクルを活用した観光を促進した

■ 駅別の利用件数(通年)

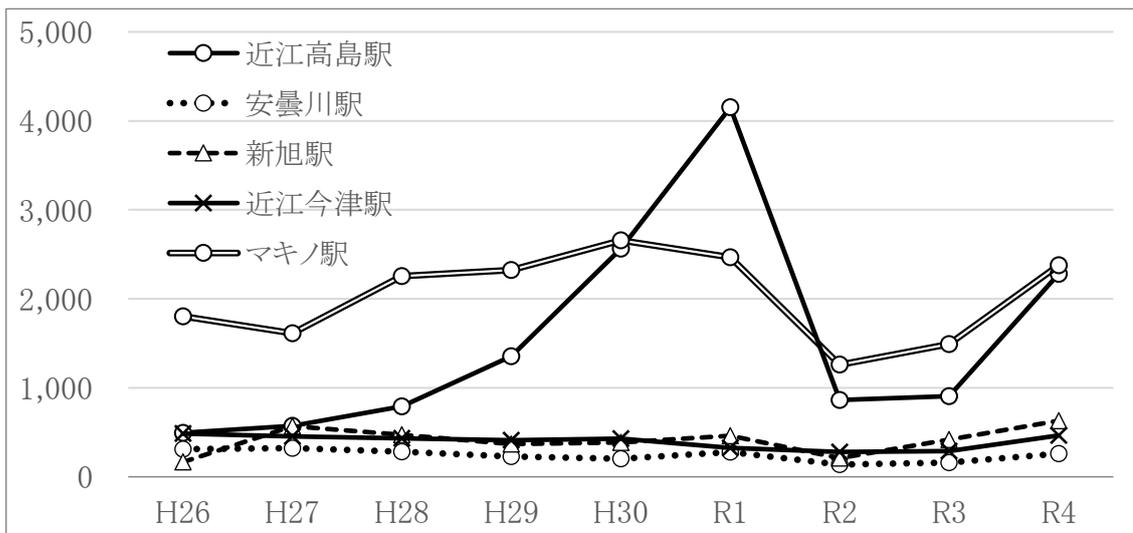
マキノ駅	近江 今津駅	新旭駅	安曇川駅	近江 高島駅	合計	前年 対比
2378	464	631	261	2282	6016	184%

■ 利用台数の月次変動



前年度から利用台数は大きく回復している。特に春の行楽シーズン、秋の紅葉シーズンの利用が目立つ。

■ 利用台数の年次変動



白鬚神社への関心の高まりにより、平成28年ころより近江高島駅のインバウンドを含む利用が急増した。コロナ禍で落ち込んだ後本年度より明らかな回復が見られた

② Web予約システム導入

ユーザー利便性向上の為、Web予約システムを導入した。

2) 市内外関係機関との協力

① 実行委員会、協議会等への参画

全国棚田(千枚田)サミット実行委員会 ・ びわこキャンペーン推進協議会
 北びわ湖広域観光協議会 ・ 自衛隊フェスタ 50・70in 滋賀高島実行委員会
 高島くつきトレランレース実行委員会 ・ 四季遊園マキノ交流推進協議会
 高島市産業連携協議会 ・ 鯖街道まちづくり連携協議会 他

② 事務局業務の受託

高島市観光ボランティアガイド連絡協議会
 たかしまアウトドア推進協議会
 高島トレイル連携協議会

③ 名義後援等での協力

催事名	主催	開催場所	開催日
高島ロゲイニング 2022	同実行委員会	高島市各所	6/25
第 10 回高島盆踊り大会 高島おどり	高島の盆踊り歌 保存会	ローラン名小路商店街	7/17
第 17 回びわ湖高島ジュニアサッカーサマーカーニバル	(株)京都新聞社 ホールディングス	今津総合運動公園	7/30 ～ 8/1
「近江今津ふるさと夏まつり」“やっさ！今津！！”	同実行委員会	高島市民会館 駐車場他	8/1
第 4 回びわ湖・高島カップ 女子ソフトボール大会	同実行委員会	今津総合運動公園	8/14 ～ 8/16
第 32 回近畿私立高等学校 校女子ソフトボール選抜大会	近畿私立高等学校 女子ソフトボール連盟	今津総合運動公園	8/17 ～ 8/19
第 3 回比良トレイルラン 2022	同実行委員会	大津市伊香立～ 高島市黒谷	10/1
第 3 回「ひかり奏でる丘ローザンイルミ」	株式会社メーリーデイズ	ローザンベリー多和田 イングリッシュガーデン	10/8 ～ 2/12
第 6 回びわ湖ウォータートレイル SUP 駅伝レース	たかしまアウトドア 推進協議会	高木浜～近江白浜	11/13
農業イベント「第 5 回柿まつり」	南深清水 FF 倶楽部	今津町南深清水 オリーブほ場	11/27
高島市民劇 2022	高島市市民劇上演 実行委員会	高島市藤樹の里 文化芸術会館	12/3 ～ 12/4

IV. 観光物産振興事業

1) 通信販売事業

① 自社 EC サイトで「たかしま・まるごと百貨店」の商品を中心に販売を実施した。

実績 16 件 95,992 円 前年度比 103%

② びわ湖高島えんむすび事業(高島市のふるさと納税事業)に参画して、返礼品を提供した。品目変更の影響があり前年実績を下回った。

・高島屋洛西店経由 実績 159 件 869,110 円 前年度比 89%

・JTB 経由 実績 54 件 340,000 円 前年度比 91%

③ 高島屋オンラインでの販売を実施した。

実績 39 件 222,100 円 前年度比 129%

③ 楽天市場 EC 事業(市補助事業)

前年度に引き続き楽天市場モールで高島市物産の PR と販売を実施した。

参画事業者 18 件 登録商品 61 点

販売実績 113 点 368,252 円 前年度比 140%

多角的に行った広告に一定の効果が見られたが、事業の採算性、経済効果から見ると十分な結果には程遠く、令和5年度以降に EC 事業全体について精査を行う。

2) たかしま・まるごと百貨店の運営

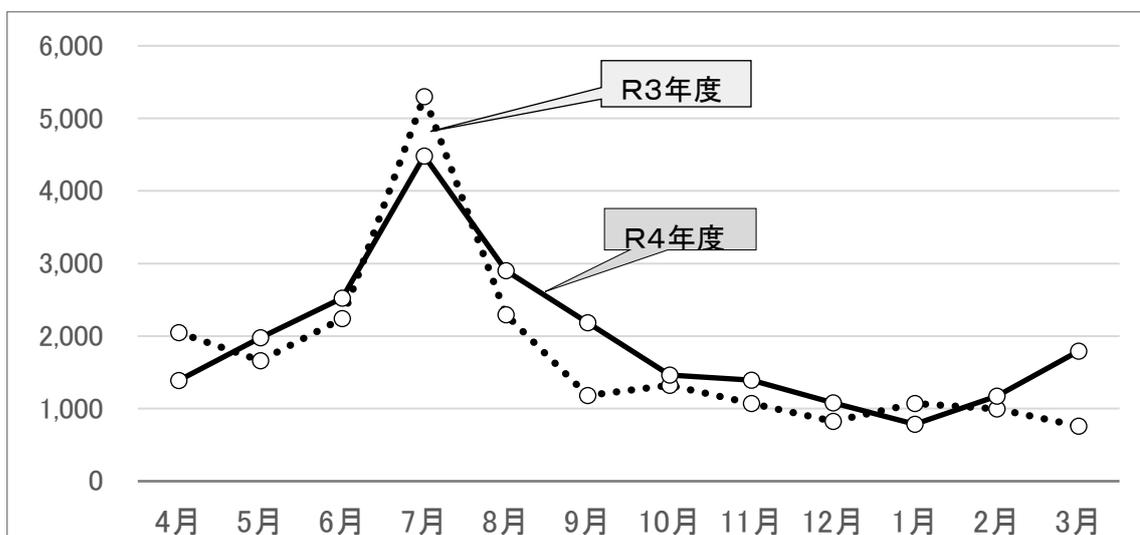
開業8年目を迎え、市内産品の直売所として認知を広げている。出店事業者との連携による新商品の展開や情報の充実と、配送、包装等の顧客サービスを充実させることで、他施設との差別化を図っている。

① たかしま・まるごと百貨店 売上実績

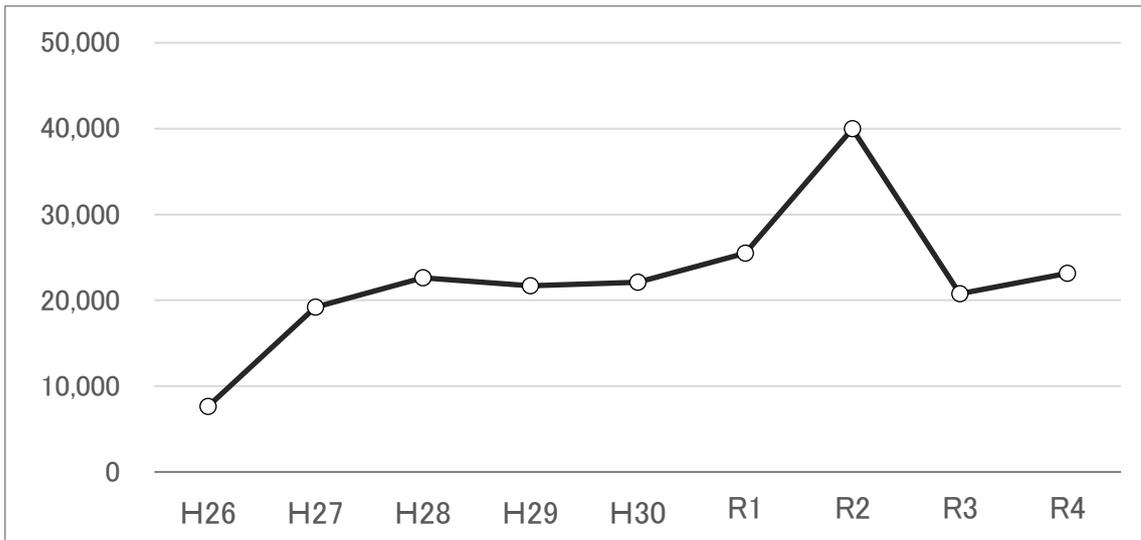
■ 通年の売上高 23,136,468 円 (前年比 105%)

前年を上回る実績となり、観光の動向と同様に、購買意欲の高まりが表れている。

■ 売上の月次変動(千円)



■ 売上の年次変動(千円)



令和3年度でコロナ禍による売上の停滞は、底を打ったと評価しているが、令和4年度は微増の結果となった。

② 店舗の充実を図る活動

- ・ 出品状況の停滞している出荷者に出品を促し、商品の充実を図ると共に、本年度より新たに、1社の事業者が参画した。
- ・ レジ台のリニューアルを行い、接客対応の円滑化を促進した。

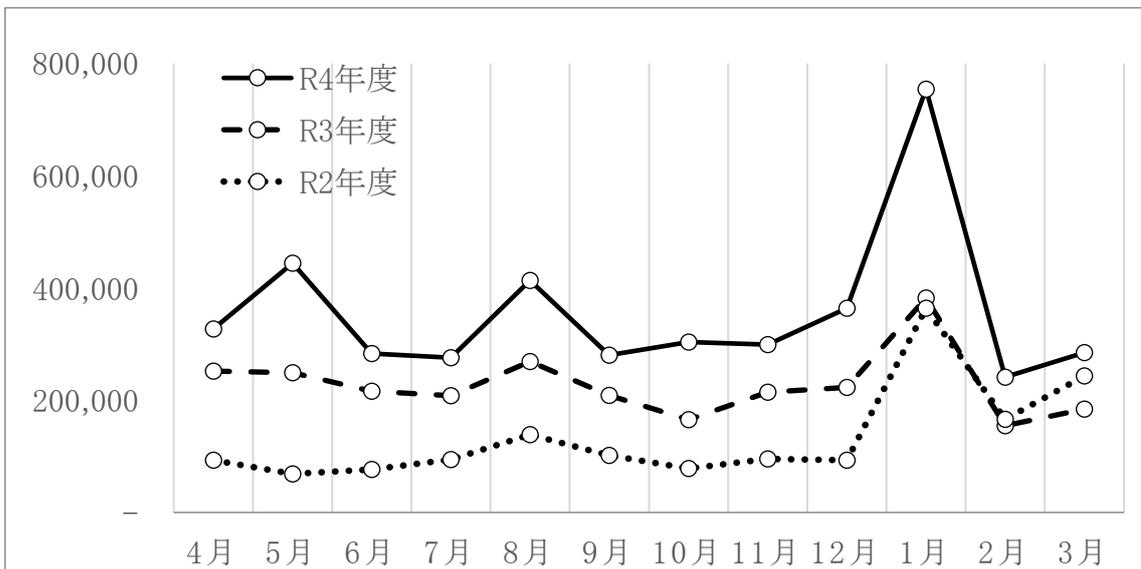
③ 店舗外の物産販売等

- ・ 近鉄草津店高島市コーナーでの物産販売

高島市産品の常設販売コーナーが3年目を迎え、認知の向上と共に出品者の商品ラインナップの変更など、適切な対応により、前年度比157%を達成することができた。

■ 近鉄草津店高島市コーナー 売上実績

売上総額 4,269,759円 前年比 157%



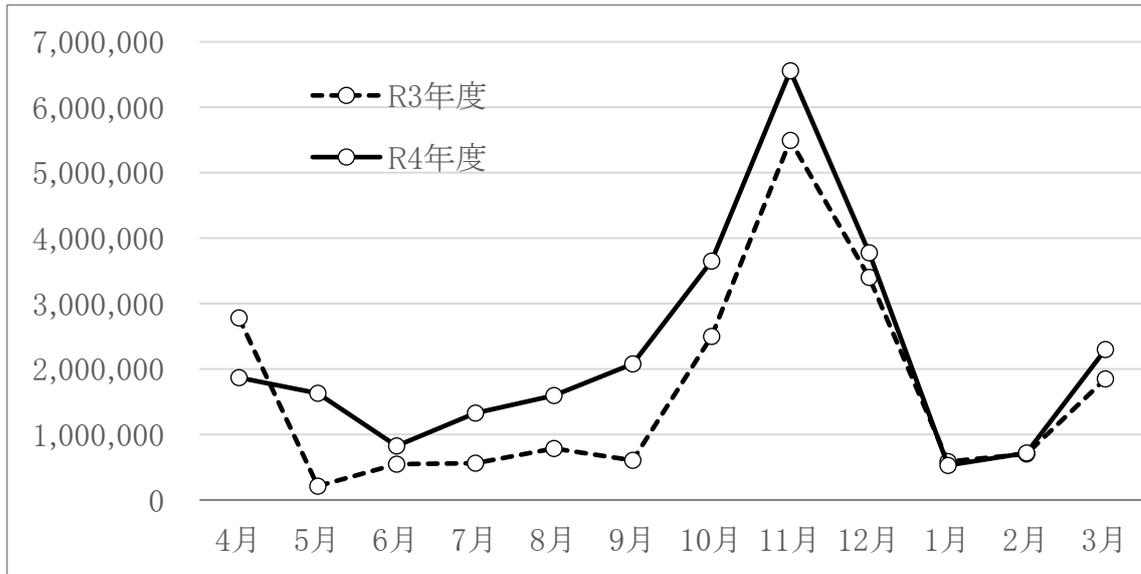
出品者は年度の前後で15社から16社に増加した。今後も高島市物産の貴重な常設販売店舗として商品充実の取り組みを進めていく必要がある。

・フルタセコイヤチョコレートの卸売

高島市とフルタ製菓(株)の包括連携協定により、展開されているメタセコイヤシリーズ商品の市内観光施設、観光事業者等への卸売りを継続的に実施。

■フルタメタセコイヤシリーズ商品の売上実績

売上総額 22,709,484円 前年比 135%



コロナの感染拡大の状況に左右されて不安定な売上が続いたが、情勢が落ち着いた今期については、通年で稼働することができ、順調に売上を伸ばすことができた。

④観光案内

JR新旭駅前において観光協会事務所に隣接する立地を生かし、新旭駅前観光案内窓口としての機能を果たした。

⑤イベントの開催

たかしま・まるごと百貨店及び高島市物産品のPR効果を高め、知名度の更なる向上を図ると共に、売上の上積みを図るべく、まるごと百貨店のイベントを毎年定例的に開催している。

・サマーフェアを開催

期間 7月9日(土)～10日(日)2日間

実績 売上 1,812,796円 前年比 79%

企画 恒例の20%オフセールを実施、特価品の提供

内容 ちぢみ等夏向け商品が中心

有料広告(新聞紙面買取)の活用を予定していたが、昨年度同様に情勢を考慮して実施しなかった。市内への新聞折り込みは実施した。

・感謝祭(新旭文化祭コラボイベント)

10%オフセール、特価品の提供を予定していたが、11月開催予定の新旭文化祭が中止されたため中止した。

・スプリングフェアの日程変更

購買意欲の高まる期間に変更した。

期間 3月26日(土)～27日(日)から、
4月8日(土)～9日(日)に延期

・ギフトシーズン対応

特設コーナーを設け、販促を図った。

母の日(4月29日～5月8日)、父の日(6月1日～6月19日)

3)物産展の開催・催事への出店

多様な機会を活用し高島市の特産品の販売と共に広告宣伝を行うことで、製品の認知を広め、今後の物産振興に寄与することを目的として業務を実施。

■催事一覧

催事名・会場	期間	実績
全国植樹祭(甲賀市)	6月5日	出品 メタセコイヤチョコシリーズ 売上 10,800円
「シル・キル・タベル コレ」 近鉄百貨店 PlugsMarket(草津市)	6月29日 ～7月5日	出品 17社 売上 1,946,254円
「BlueGreen コレ」 近鉄百貨店 PlugsMarket(草津市)	9月21日 ～9月27日	出品 17社 売上 1,136,817円
FIELD STYLE JUMBOREE セントレア(愛知)	11月18日 ～11月20日	出品 10社 売上 27,400円
高島新鮮産直市 島本町駅前広場(大阪)	11月23日	出品 6社 売上 24,880円
「春の高島ちぢみコレクション」 ここ滋賀(東京)	3月11日 ～3月12日	出品 1社 売上 289,550円
つるがフェス(新幹線伸延1年前) 敦賀駅前(福井)	3月18日 ～3月19日	出品 11社 売上 28,200円
クルーズ船イベント 敦賀港(福井)	3月21日	出品 12社 売上 29,390円

4)情報発信ツールの作成

①主催イベントのPRチラシ作成

サマーフェア 16,000部およびスプリングフェア 14,100部のPRチラシを作成、市内新聞折り込み及び市内観光施設への配置を実施した。

②誘致営業活動用のパンフレット改定増刷

ふるさと納税参画を勧誘するための、営業資料を作成。

5)情報発信

SNSの活用による情報提供、イベント情報等のメディア提供を行った。

①マスメディアへの情報提供

ここ滋賀催事に際して情報提供を行い、計 41 社の媒体にて掲載。

②協会メディアの活用

たかしま日和(季節情報誌)「たかしまのおみやげ」コーナーにて情報を発信。

秋冬号(8月発行)／春夏号(2月発行)

③SNS等での情報発信

Instagram、LINE 広告を用いて、店舗の情報および、商品の詳細情報、イベント催事等の告知を情報発信。

■広告配信結果(2023.2.27-2023.3.11 ここ滋賀催事広告)

広告媒体	インプレッション数	リーチ数	クリック数
Instagram	92,765	62,272	1,469
LINE 広告	318,411	66,547	4,266

各媒体を利用し、性別、年代問わず、幅広く情報発信を行うことができた。広告内容に興味をもったのは、Instagramにおいては女性の割合が高く、LINE 広告では男性の割合が高い傾向が見られ、それぞれの媒体を、有効に活用できたと考えられる。

6)誘致営業

①訪問営業

- ・ふるさと納税返礼品への参画を打診。
- ・観光振興事業誘致活動時に施設紹介等を実施。

②モニターツアーへの組み入れ

- ・北びわ湖広域連携推進協議会主催のインバウンド向けモニターツアーにおける経由地として参画。今後のツアーへの組み込みをアピール。

③資料送付 旅行社、関係機関、一般消費者へ観光情報に付帯して送付した。

V.施設等の管理・運営

1.琵琶湖周航の歌資料館案内業務(市委託)

琵琶湖周航の歌資料館において、高島市から委託を受け展示案内解説員を配置。琵琶湖周航の歌が誕生した経緯や琵琶湖周航の歌に関係する展示と説明を行った。

①資料の保管と整理

- ・収蔵資料を適正に保管し、整理と分かりやすい展示を行った。
- ・来館者等による資料への破損がないよう注意した。

②展示の充実

- ・琵琶湖周航の歌誕生の月 6 月に合わせ、6 月 1 日から 6 月 30 日に特別展示「琵琶湖周航の歌歌碑めぐり」を行った。県内7箇所にある琵琶湖周航の歌ゆかりの歌碑の写真を展示、また平成 29 年の琵琶湖周航の歌 100 周年にて配布された歌碑めぐりのマップを展示した。

③情報発信

- ・琵琶湖周航の歌資料館の PR パンフレットの作成:5,000 部
- ・高島市民会館と連携し、6 月 26 日に高島市民会館で行われた「うたつたえ」コンサートのチラシ作成に協力した。

④案内業務

- ・来館者に琵琶湖周航の歌の解説を行った。

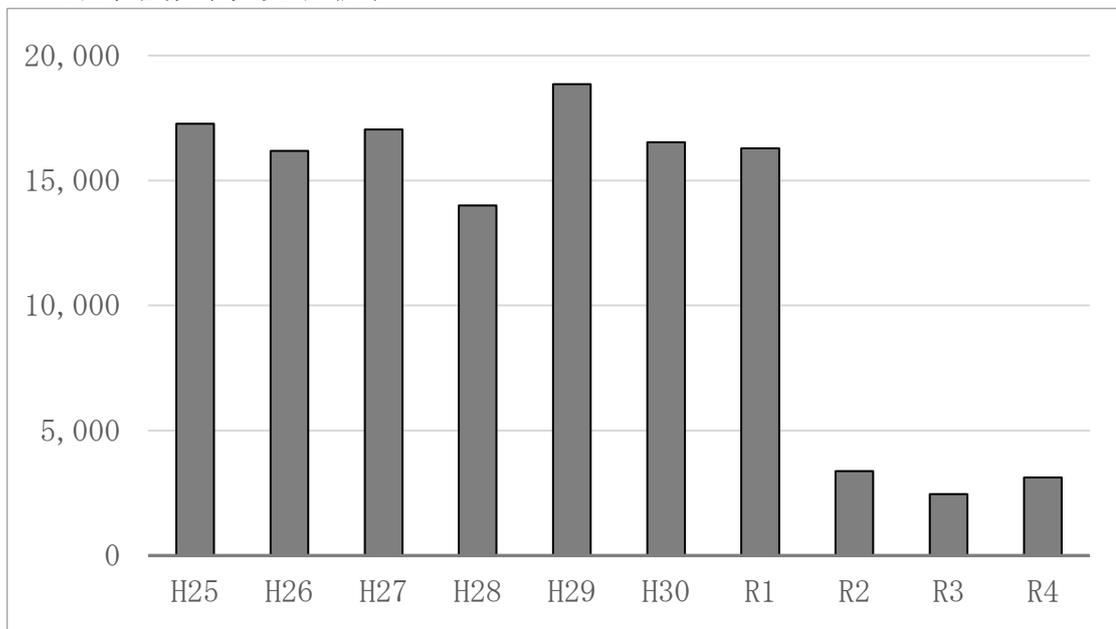
⑤企画イベントの実施

- ・6 月 1 日から 6 月 30 日の特別展示期間、来館者に琵琶湖周航の歌について、より深く知ってもらうため、周航の歌クイズを実施した。

⑥来館者の実績

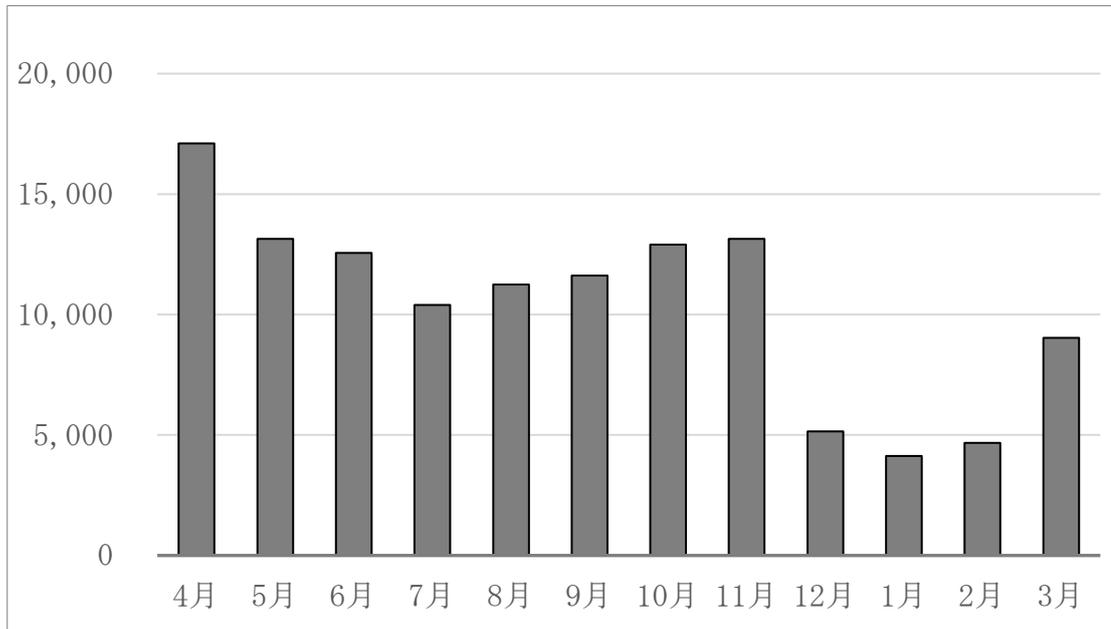
年間入館者数:3,120 名 前年度比 127% 対令和元年度比 19%

■ 来館者数年次変動(人)



来館者が令和 2 年度に大きく減少した、令和 4 年度には少し回復が見られるが、以前の水準にはいたっていない。コロナ禍の影響が大きいと考えられる。R2 年 4 月の施設の移転の影響についてはコロナ禍の拡大の時期に重なるため、今後の回復をみでの改めての評価となる。

■ 来館者数月次変動(人;過去10年分合計)



春・秋の観光シーズンに来館者が多い。冬季は特に減少する傾向がある。

2.JR 駅観光案内所運営(市委託)

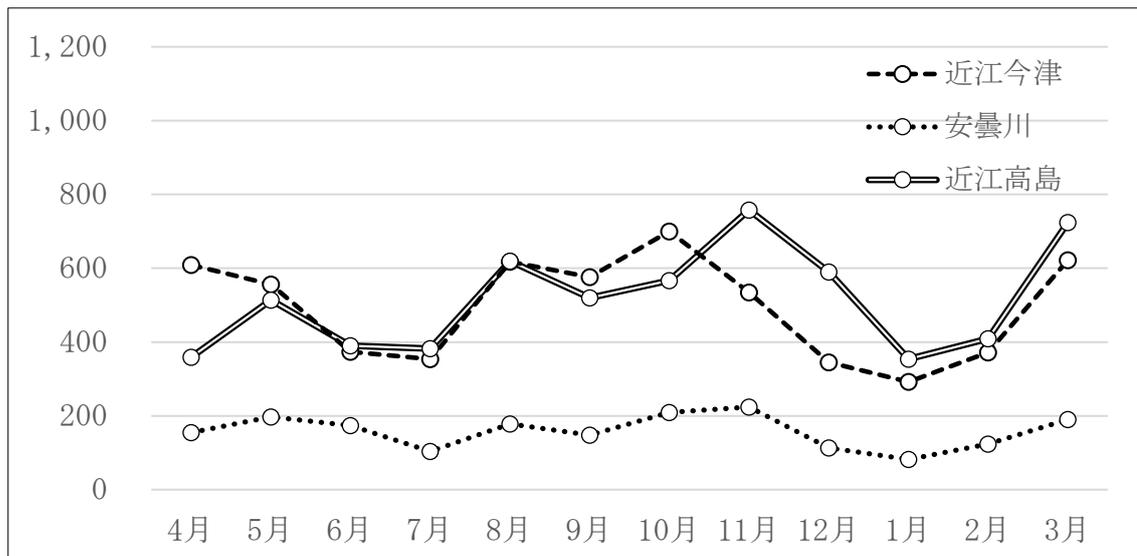
①近江高島駅、安曇川駅、近江今津駅の各駅構内観光案内所にて案内を実施した。

■ 駅別案内件数年次変動(件)



令和2年度3年度はコロナ禍の影響で案内件数が激減したが、4年度には回復が見られた。近江高島駅では平成29年ころから外国人旅行者を中心に案内が増えた。減少後の令和4年度においても、いち早く回復を見せている。

■ 駅別案内件数月次変動(件)



いずれの駅でも5月・8月・10～11月にピークがある。近江高島駅ではインバウンドが再始動した11月以降において他の駅より相対的に利用が増えている。

- ②二次交通としてのレンタサイクルの貸出窓口の機能を果たした。
- ③バス回数券等の販売を実施した
- ④営業時間の延長

近江高島駅観光案内所について、水際対策の緩和に伴うインバウンドの増加に対応して、11月21日～12月28日、3月1日～3月31日の期間、営業時間を1時間延長(9:00 から 14:00 まで営業)した。

3.六ツ矢崎浜園地管理業務(市委託)

六ツ矢崎浜オートキャンプ場として、管理運営を実施した。

1)管理業務

- ・日常管理業務：安全点検、草刈り、トイレ・炊事施設の清掃、ごみの回収処分
- ・施設等メンテ：園内整地、水漏れ修繕、排水詰まり等の修繕、トイレ外壁等塗装
- ・大雨、積雪等の影響の復旧作業：風倒木落枝撤去、湖岸漂着物処理、建造物修繕

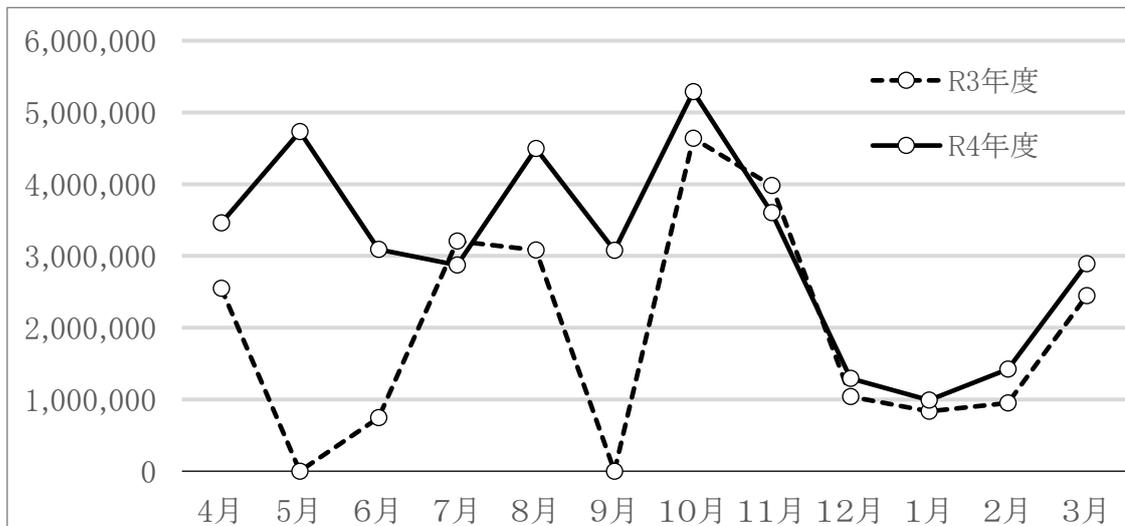
2)キャンプ場営業期間

利用者のニーズに対応して、本年度より正式に運営期間を通年に変更し、冬季営業を開始。12/27～1/6のみ休業期間とした。極寒期を除いては、十分な集客が図れており、新たなマーケットの開拓に繋げることができた。感染症等による閉鎖の影響を受けず、通年の営業を行うことができ、大幅に業績を伸ばすことができた。

3)利用実績

	利用件数	利用人数	車両台数	管理協力金	前年比
計	14,776	22,667	13,546	37,212,800	159%

■管理協力金月次変動(円)



4) メンバースカードを作成、配布：リピーター確保に向けた取り組みとして継続実施。

5) ショップやメーカー、メディアによる撮影への協力：計 16 件受入れ

月日	事業者・媒体	内容
4月19日	株式会社ロジック	e-sports 関連 TV 番組
4月22日	株式会社 LIG	キャンプ用品撮影
4月27日	ビーズ株式会社	キャンプ用品撮影
5月31日	yamabon	雑誌 BE-PAL
6月5日	株式会社八重洲出版	雑誌 AUTO CAMPER
7月22日	関西テレビ	TV ロケ
9月1日	株式会社 CLASSIX	車両撮影
9月13日	WAQ 株式会社	キャンプ用品撮影
9月29日	ビーズ株式会社	キャンプ用品撮影
10月22日	芸文社 OUTDOOR あそびーくる	雑誌 OUTDOOR VEHICLE
10月25日	(株)ワークブックス	車両撮影
11月18日	株式会社クボタ	建設機械撮影
1月26日	株式会社 CLASSIX	車両撮影
2月5日	交通タイムス社	車両撮影
3月14日	フレックスドリーム	YouTube 動画撮影
3月27日	WAQ 株式会社	キャンプ用品撮影

※媒体でクレジット「六ツ矢崎浜オートキャンプ場」を表記することを条件に管理協力金を免除することで、メーカーや雑誌社を活用した情報発信を行った。

VI.組織強化事業

1. 部会活動

1) 誘致推進部会

①部会員数 34 名

②主な活動内容

- ・入込調査を継続的に実施、四半期毎に調査結果のフィードバックを行った。事務局では、事業計画立案等に活用した。
- ・特に団体・教育旅行における最新動向の勉強会を実施し、新たな誘致ツールとしてSDGs 資料を作成した。
- ・市内事業者間連携を目的とした現地視察会を開催した。

■会議・事業詳細

月日	会議・事業名	議題など	出席数
5/19	第1回 運営委員会議	・令和4年度事業 SDGsの観光活用、 物産振興部会との連携他	委員 8名
6/16	第1回 全体会議	・役員改選(運営委員の選任) ・令和4年度事業	部会員11名 委任状11
6/16	第2回 運営委員会議	・役員改選(部会長・副部会長の選任) ・令和4年度事業(SDGs資料、現地視察他)	委員 10名
6/22	勉強会	【教育旅行誘致勉強会】 講義「教育旅行×SDGs～学校現場に選ばれるSDGs学習プログラム～」(株)JTB 滋賀支店教育旅行センター所長 藤田真吾氏	参加者 18名
7/11	第3回 運営委員会議	・令和5年度事業計画 ・令和4年度事業検討 (SDGs資料確認、市内視察他)	委員 6名
10/4	第4回 運営委員会議	・令和5年度事業計画 ・令和4年度事業検討 (市外視察、事業進捗報告他)	委員 7名
10/19	市内視察	事業者間の送客連携・商品造成等促進 視察先／びわこ箱館山(新アクティビティ等) ビワコアクアポニックス(施設見学)	参加者 22名
2/14	第5回 運営委員会議	・令和5年度重点事業 ・令和5年度部会体制 他	委員 5名

2) 物産振興部会

催事出店に関すること、およびまるごと百貨店、ECサイト等の運営などについての検討を実施した

■会議

月日	会議名	議 題	出席数
4/15	第1回 運営委員会議	・令和3年度物産振興事業報告 ・令和4年度物産振興事業計画	委員 5名
6/16	第1回 全体会議	・運営委員の選任 ・令和4年度物産振興事業 ・令和5年度物産振興事業計画	部会員 5名
6/16	第2回 運営委員会議	・部会長・副部会長の選任	委員 5名
1/27	第3回 運営委員会議	・令和5年度物産振興事業計画 ・令和4年度物産振興事業	委員 5名

2.研修・育成活動

1)他機関開催の研修会、セミナー等への参加

「シガリズム観光人材育成・活性化事業」

令和元年度から県が継続的に実施する人材育成プログラムに、当協会から基礎コース2名、ビジネス創出コース3名、計5名が参加した。令和4年度からの3年間は、持続可能な観光地経営を目指すための人材育成、また、各地域の人材を県内広域連携におけるリーダーとして活躍できる仕組み作り・活性化を目的として実施中。

・事務局：株式会社日本旅行草津支店

・コーディネーター：国立大学法人滋賀大学 産学公連携推進機構

①基礎コース(計20名受講、県内市町観光協会職員等が対象)

第1回	9月7日 滋賀大学 (彦根)	・講演①「観光のトレンドとコロナ後」 滋賀大学産学公連携推進機構 上田特任教授 ・講演②「滋賀県の観光振興について」 滋賀県商工観光労働部観光振興局シガリズム推進室 奥本主幹 ・ワークショップ「私の町のおすすめ、私の旅の思い出」
第2回	10月5日 リモート	・講義①「地域の宝さがし」／針江生水の郷委員会 海東氏 ・講義②「観光プロモーション戦略～DX化とSNS活用について～」／観光ビジネス総研株式会社 刀根氏
第3回	10月11日 甲賀市内	・フィールドワーク「WELLNESS NINJA TOUR」
第4回	12月14日 近江八幡 市内	・講義「観光協会の仕事の面白さ」 ／一般社団法人近江八幡観光物産協会 田中事務局長 ・フィールドワーク／八幡堀周辺

第5回	1月18日 リモート	<ul style="list-style-type: none"> ・講義①「観光マーケティングとデータ活用」 じゃらんリサーチセンター 主席研究員 森戸氏 ・講義②「インバウンド観光」/悠ツアー 代表 森氏
第6回	2月15日 滋賀大学 (彦根)	<ul style="list-style-type: none"> ・成果報告会 ・基礎コース 個人発表 ・ビジネス創出コース 発表 ・ワークショップ/ビジネス創出コース・基礎コース合同

②ビジネス創出コース(計17名受講、令和元年度～3年度の研修受講生が対象)

第1回	7月27日 リモート	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会の課題・目指すべき姿について ・本年度の研修予定について 他
第2回	9月14日 滋賀大学(彦根)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「地域の巻き込み事例」 観光ビジネス総研(株) 千葉氏 ・ワークショップ「地域の巻き込み・広域連携について」
第3回	10月5日 滋賀大学(大津)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「下呂温泉観光協会の取り組み」 (一社)下呂温泉観光協会 瀧会長
第4回	12月6日～7日 岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・先行事例視察 ・下呂温泉観光協会、南飛騨馬瀬川観光協会他 (DMO・マーケティング活用・観光人材育成・地域経営等)
第5回	1月18日 リモート	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「データ活用・成功事例紹介」 (株)じゃらんリサーチセンター 森戸氏 ・先行事例視察の振り返り・成果報告会に向けて
第6回	2月15日 滋賀大学(彦根)	※基礎コース第6回と同様

2) 会員間情報の共有強化

- ・メール「たかしま観光だより」の配信
計15回配信(111号～125号)

- ・会報誌「観光協会だより」を発行。6月下旬に全会員に配布。
- ・交流会、研修会の開催

誘致推進部会員を対象に、SDGsをテーマの勉強会と、市内体験施設の視察会を開催した。

- 3) 職員に対する人事評価、育成面談を実施。また情報共有等を目的とした役職者会議、課内会議を実施した。

以上